

1. 指定管理者名	公益財団法人 多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成23年 4月 1日 ～ 平成28年 3月31日
3. 業務の範囲	(1)精華公民館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2)精華公民館の使用許可に関すること。 (3)使用料の徴収に関すること。 (4)公民館事業の実施に関すること。

4. 採点表		評価項目		細目		配点		採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点	
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%未満～95% 4点	年次報告書P66.67(利用率・利用人数) ※平均値比●% =(H25度実績)÷(過去2年間実績平均値)) 大ホール:60.0%(平均値比104% =60.0%÷57.9%) 研修室:39.3%(平均値比102% =39.3%÷38.6%) 会議室:39.1%(平均値比91% =39.1%÷42.8%) 和室(東):16.5%(平均値比70% =16.5%÷23.6%) 和室(西):28.8%(平均値比98% =28.8%÷29.3%) 料理実習室:11.1%(平均値比92% =11.1%÷12.1%) 多目的実習室:54.4%(平均値比101% =54.4%÷53.7%)	4点						
			②利用人数	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%未満～95% 4点	年次報告書P66.67(利用率・利用人数) ※平均値比●% =(H25度実績)÷(過去2年間実績平均値)) 大ホール:22,690人(平均値比102% =22,690人÷22,274人) 研修室:8,922人(平均値比105% =8,922人÷8,494人) 会議室:6,118人(平均値比89% =6,118人÷6,879) 和室(東):2,730人(平均値比117% =2,730人÷2,338人) 和室(西):3,693人(平均値比110% =3,693人÷3,364人) 料理実習室:2,499人(平均値比124% =2,499人÷2,009人) 多目的実習室:12,893人(平均値比98% =12,893人÷13,104人)	4点						
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	年次報告書P70～72(文化事業一覧) ①公民館まつり ・精華公民館まつり(ステージ部門)参加者 360人(展示部門)参加者 540人 ②地域意識醸成事業 ・地域の祭典・春(84人・公民館活性化委員の会との共催) ・地域の祭典・夏(111人・公民館活性化委員の会との共催) ・地域の祭典・秋(82人・公民館活性化委員の会との共催) ・地域の祭典・冬(公民館まつり) ・秋のウォーキング(20人・公民館活性化委員の会との共催)ほか	仕様書以上 12点	地域団体と協力し、地域の特性を活かした事業を年間を通じて開催し、さまざまな世代が楽しみ、交流することができた。	12点						
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	年次報告書P70～72(文化事業一覧) ・おはようサロン(高齢者向け) ・おしゃべりサロン(乳幼児とその保護者向け) ・子どもボランティアキッズ育成講座 男倶楽部(全4回)ほか	期待以上 13点	・人と人の心のつながる地域を目指し、おはようサロンやおしゃべりサロンを開催し、参加者の意見や希望を取り入れながら、公民館が地域のふれあいの場となるよう工夫した。 ・精華ボランティアキッズを育て、子どもたちがアイデアを出しながら、イベントを企画運営することができた。	13点						
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	年次報告書P68(維持管理業務) 施設内清掃(基準:毎日)を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点						
			②保守・点検			年次報告書P68(維持管理業務) ・消防設備保守点検(基準:年2回)・・・年2回実施 ・空調機器設備保守点検(基準:年4回)・・・年4回実施 ・エレベーター設備保守点検(基準:年12回)・・・年12回実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。							
			③保安・警備			・機械警備業務を委託して実施(毎日)。	適正(普通) 2点	適正に実施されている							
			④小規模修繕			年次報告書P68(有償修理の内訳) ・小規模修繕 9件 総額 950,670円	適正(普通) 2点	適正に実施されている。							
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			特になし	適正(普通) 2点								
		(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	市に準拠した方法で管理している(ファイリングシステム)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	12点						
			②環境への配慮			・各部屋に冷房28℃、暖房20℃の表示を掲示し協力要請をしている。 ・屋間のトイレ未使用時の消灯を呼びかけ、また、職員が巡回して消灯している。 ・冬場は膝かけ、夏場は、扇風機を共有スペースや利用団体に貸出し省エネに心掛けている。 ・1Fトイレ・身障者トイレの手洗いをセンサー式に、流水音発生器を設置するなど節水に努めている。 ・一日中点灯している事務所、誘導灯をLED照明に移行して省エネに努めている。 ・公民館ボランティア団体、市民会議、職員による定期的な草取り、溝の清掃をしている。	期待以上 3点	適正に実施されている。 協定書の規定(修繕1件20万円)の範囲を超えて、館内の誘導灯をLEDに取り替えた。(262,500円) 光熱水費の削減につながった。(電力減量 2,193kwh、ガス減量 22.5㎡、水道減量 61㎡)							
			③バリアフリー			・身障者が利用しやすいスペースを確保している。 ・ロビーに車椅子を常設して、すぐに利用できるようにしている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。							

			④備品管理			・ 備品台帳を作成して、どこにどれだけの備品があるか把握し、問合せ等に利用している。 ・ 朝と帰りに各部屋の備品のチェックをして、紛失、破損がないか点検している。 ・ 備品に不具合がないか、安全に使用できるか、各部屋の職員担当者を決め、常時安全点検を行っている。	期待以上 3点	協定書の規定(備品1件20万円)の範囲を超えて、会議室の椅子を買い替えた。(218,400円)	
			⑤個人情報保護			多治見市文化振興事業団「個人情報保護方針」に基づき実施している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	特になし	事故なし・対応に不備なし 0点		0点
3	当該施設の経営状況(5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入21,478,120円÷支出19,711,212円＝109%	105%以上 5点	指定管理委託料の範囲内で適正に事業が行われている。	5点
4	より良い施設運営のための取組(30点)	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	要望:靴の脱ぎ履きに体がよるけて危ない。 対応:座って靴を脱ぎ履きできるよう、各部屋に腰掛けイスを設置した。 要望:卓球台、卓球台備品を倉庫から持ち運ぶのは大変。 対応:卓球台の設置場所を大ホール後ろへ変え、備品も整理してカゴにいれ、使用しやすくした。 要望:「おはようサロン」講師の先生が楽しかったので、もっとやりたい。 対応:健康づくりを目的とした同先生の講座を新たに開催しました。	適正(普通) 7点	要望に対し、迅速かつ適正に対応した。	7点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	苦情:近隣者から夜間の騒音で困っている。静かにしてほしい。 対応:音を出す団体は、窓を開けて使用しないよう注意を呼びかけた。 苦情:近隣者から夜間21時30分までの使用は迷惑である。21時には終了してほしい。 対応:利用団体に、近隣者のことを考え、21時以降は静かに使用していただき速やかに帰ってもらうようにした。	苦情なし・適正(普通) 4点	苦情に対し、迅速かつ適正に対応した。	4点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	<事業実施のための提案> ・ 精華公民館は町の中心部にあるため、市内の住民が各地域から幅広く利用されます。多治見市民だれもが公平に利用できる公民館として、また利用者同士、お互いが思いやりの心をもって利用してもらえる公民館となるよう職員が細やかな対応に心掛けます。そして公民館から地域へ、地域から市全体へ広げていきたいです。 ・ 地域の住民が集いふれあう「精華地域の祭典」を幅広い世代が楽しめる事業とします。26年度は、夏休みに小学生が楽しめるテレビで人気の「風船太郎のわくわくバルーンショー」を開催し、子どもたちが夏休みに公民館で楽しい思い出をつくってもらいます。 ・ 多くの男性に利用していただくために、男性対象の男倶楽部を継続し、26年度は、男性が興味を持ち、気楽に参加できる事業、継続して利用してもらえる事業を企画します。 ・ 年々参加者が増え、人気の高い「おはようサロン」は、参加者が楽しめる魅力ある講座を提供できるよう“おはようサロンボランティア”といっしょに企画運営していきます。	期待以上 14点	・人と人の心がつながる地域の”ふれあいサロン”をめざして、サロン事業を開催したことが評価され、第66回文部科学省「優良公民館表彰」を受賞した。(県下2館) ・現在の状況に満足するのではなく、さらに地域のふれあいサロンとして課題を見つけ、提案をしており、今後の取り組みにも期待する。	14点	
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	適正に実施されている	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし		0点	
合計			##	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下					合計85点
								全体的な評価 ・地域の特性を活かしたサロン事業が評価され、文部科学省「第66回優良公民館表彰」を受賞することができた。 ・「精華公民館・地域の祭典」を年4回開催し、地域住民が集い交流できる公民館となるよう努めた。 ・男性が地域にでることで仲間作りができるよう「男倶楽部」を開催し、男性の活動の場所となった。 ・精華小学校、陶都中学校の子どもたち23名が「子どもボランティアキッズ」に登録し、公民館ボランティアとして活躍した。 ・設備の故障等に対しては迅速な修繕を行っている。 ・利用者の要望や苦情に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。	極めて良好